

題材名「1学期の学習をふり返ろう(理科 1学期のまとめ)」

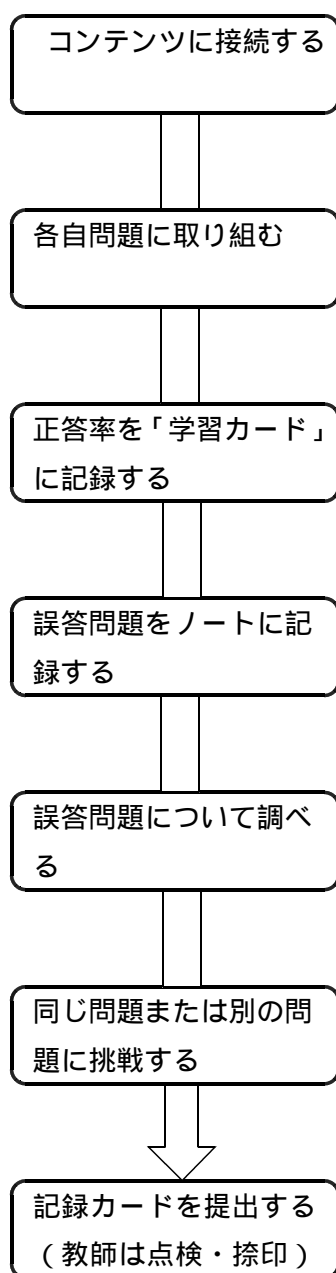
目 標

- ・ 1学期の既習事項をふり返り、単元ごとの学習状況を確認する。

コンピュータを活用する利点

使用したソフトはいわゆる「虫食い問題」で作られており、問題文を読み指定された箇所について3択、4択...で答えを選んでいくものである。用語選択画面が問題文の下に並ぶように提示されるので、問題文を確認しながらの選択が可能である。すべてマウス操作で行うが、児童は抵抗なく操作できた。

授業の流れ



ICT 活用場面

コンテンツの内容が問題集であるので、学習後の理解度の確認、また児童自身のふりかえりにも役立つと考えた。また、ドリルとして活用できる性質を持つため、くりかえし学習することで理解度を高められるように、児童が意欲的に取り組めるように「児童用の単元別学習記録カード」(学習月日と正解率を記録する)を作成し、学習記録を残すようにした。



成果と課題

内容的に難解なもの(小学校の履修内容外)も含まれており、正答率100%は難関である。反面、くりかえしトライできることから、正答率を上げようと取り組む意欲を刺激するには十分である。

使用側から見ると、途中で学習を終えると記録が残らないのが難点といえる。前述の通り、各単元が20問前後の小問で構成されている。回答時間に個人差が発生することは言うまでもなく、最後までやりきらないと実際の正答率が得られない(未消化の小問は誤答と記録される)。単元を10問にすると、扱いやすいのではないだろうか。また、「はじめから」「つづきから」などの切り替えモードが設定されればと期待する。

さらに、全問正解できなかった小問が再度提示されたり、誤答小問が提示されたりすれば、より高い復習効果が得られ、定着度を高められると考える。

ICT 活用環境等

使用周辺機器	デスクトップパソコン 18台
使用ソフト名	電子問題集 Web 版小学6年理科(東大英数理教室)
使用教室	コンピュータ室